

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成26年2月14日
【四半期会計期間】	第68期第3四半期（自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日）
【会社名】	株式会社サンユウ
【英訳名】	SANYU CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 上野 隆
【本店の所在の場所】	大阪府枚方市春日北町三丁目1番1号
【電話番号】	072-(858)-1251(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 西村 圭二
【最寄りの連絡場所】	大阪府枚方市春日北町三丁目1番1号
【電話番号】	072-(858)-1251(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 西村 圭二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第67期 第3四半期連結 累計期間	第68期 第3四半期連結 累計期間	第67期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	10,708,214	11,543,024	14,401,284
経常利益又は経常損失() (千円)	57,464	135,387	87,970
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失()(千円)	122,553	58,666	11,715
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	139,756	58,657	30,012
純資産額(千円)	6,606,775	6,745,264	6,716,520
総資産額(千円)	15,115,528	14,955,139	15,032,025
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額()(円)	20.48	9.81	1.96
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	43.7	45.1	44.7

回次	第67期 第3四半期連結 会計期間	第68期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 ()(円)	4.42	15.35

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税及び地方消費税(以下「消費税等」という。)は含まれておりません。

3. 第68期第3四半期連結累計期間及び第67期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第67期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、当社グループのセグメントはみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線事業の単一事業であります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和策により、円安の定着・株価回復で景況感が改善され、景気は緩やかに回復しつつありますが、原燃料価格の上昇や新興国の経済成長鈍化が懸念されるなど依然として先行き不透明な状況が続きました。

みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線業界におきましては、前年同四半期は尖閣問題等により主要需要家である自動車業界において大幅な生産調整が実施されましたが、当四半期は自動車、建設機械及び産業機械の各業界需要が堅調に推移したことにより、生産も回復基調となりました。

このような経営環境下、当社グループは全社を挙げて収益の確保、生産性の向上及びコスト削減に取り組みました。

その結果、販売数量は78千トン、売上高は11,543百万円（前年同四半期比7.8%増）となりました。

損益につきましては、当社単体において販売数量の増加による数量効果があり、電力料金や輸送費等のコストアップをカバーする事ができ、前年同四半期比において売上総利益が増加しました。また、連結子会社の株式会社サンユウ九州において、販売及び生産の伸長並びに減価償却費の減少等により赤字が大幅に縮小しました。以上の結果、当社グループの営業利益は134百万円（前年同四半期は営業損失63百万円）、経常利益は135百万円（前年同四半期は経常損失57百万円）、四半期純利益は58百万円（前年同四半期は四半期純損失122百万円）となりました。

事業部門ごとの業績は、次のとおりであります。

まず、みがき棒鋼部門におきましては、販売数量が44千トン、売上高は7,186百万円となりました。

次に、冷間圧造用鋼線部門におきましては、販売数量が34千トン、売上高は4,357百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は14,955百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が273百万円増加しましたが、減価償却等により有形固定資産が300百万円減少したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は8,209百万円となり、前連結会計年度末に比べ105百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が478百万円増加しましたが、有利子負債が502百万円減少したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は6,745百万円となり、前連結会計年度末に比べ28百万円増加いたしました。これは利益剰余金が28百万円増加したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種 類	発行可能株式総数(株)
普 通 株 式	19,344,000
計	19,344,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,091,000	6,091,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	6,091,000	6,091,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年 月 日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	6,091	-	1,513,687	-	1,317,207

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 108,300	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 5,981,000	59,810	-
単元未満株式	普通株式 1,700	-	-
発行済株式総数	6,091,000	-	-
総株主の議決権	-	59,810	-

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
株式会社サンユウ	大阪府枚方市春日北町三丁目1番1号	46,300	-	46,300	0.76
大同磨鋼材工業株式会社	広島市西区小河内町一丁目25番13号	62,000	-	62,000	1.02
計	-	108,300	-	108,300	1.78

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,388,825	1,280,646
受取手形及び売掛金	¹ 4,241,400	¹ 4,515,366
商品及び製品	2,168,319	2,172,259
原材料及び貯蔵品	1,257,034	1,411,262
繰延税金資産	58,717	43,796
その他	250,659	217,517
貸倒引当金	19,754	20,057
流動資産合計	9,345,203	9,620,791
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,882,123	1,761,505
機械装置及び運搬具(純額)	2,006,446	1,824,571
土地	1,448,032	1,448,032
リース資産(純額)	18,952	17,098
建設仮勘定	-	11,000
その他(純額)	82,856	76,109
有形固定資産合計	5,438,410	5,138,317
無形固定資産		
のれん	49,625	37,218
その他	29,450	17,837
無形固定資産合計	79,076	55,056
投資その他の資産		
投資有価証券	64,618	46,758
長期貸付金	67,063	59,381
その他	52,908	55,693
貸倒引当金	15,255	20,858
投資その他の資産合計	169,335	140,974
固定資産合計	5,686,822	5,334,348
資産合計	15,032,025	14,955,139

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	¹ 3,676,240	¹ 4,154,752
短期借入金	100,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,310,186	1,127,348
リース債務	2,472	2,472
未払法人税等	46,871	11,198
賞与引当金	76,892	53,190
その他	332,725	350,401
流動負債合計	5,545,388	5,899,363
固定負債		
長期借入金	2,395,539	1,976,169
リース債務	16,480	14,626
繰延税金負債	36,457	49,621
退職給付引当金	282,565	231,020
長期未払金	5,400	5,400
資産除去債務	33,674	33,674
固定負債合計	2,770,115	2,310,511
負債合計	8,315,504	8,209,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,513,687	1,513,687
資本剰余金	1,317,207	1,317,207
利益剰余金	3,929,437	3,958,190
自己株式	43,820	43,820
株主資本合計	6,716,511	6,745,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	-
その他の包括利益累計額合計	9	-
純資産合計	6,716,520	6,745,264
負債純資産合計	15,032,025	14,955,139

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	10,708,214	11,543,024
売上原価	9,545,202	10,116,367
売上総利益	1,163,011	1,426,656
販売費及び一般管理費		
運搬費	302,294	351,739
給料及び手当	285,597	289,937
賞与引当金繰入額	22,135	25,821
退職給付費用	19,238	4,199
減価償却費	72,536	67,748
のれん償却額	12,406	12,406
その他	512,749	539,975
販売費及び一般管理費合計	1,226,958	1,291,828
営業利益又は営業損失()	63,946	134,828
営業外収益		
受取利息	1,134	1,153
受取配当金	6,595	228
受取賃貸料	18,195	17,442
鉄屑売却収入	5,089	7,306
保険返戻金	9,315	-
その他	8,614	6,033
営業外収益合計	48,944	32,164
営業外費用		
支払利息	32,235	24,172
売上割引	1,980	833
賃貸費用	7,341	6,230
その他	905	370
営業外費用合計	42,463	31,605
経常利益又は経常損失()	57,464	135,387
特別利益		
固定資産売却益	343	113
投資有価証券売却益	11,028	3,571
特別利益合計	11,372	3,684
特別損失		
固定資産除却損	3,887	0
固定資産売却損	13,974	119
特別損失合計	17,861	119
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	63,953	138,952
法人税、住民税及び事業税	9,906	52,195
法人税等調整額	48,693	28,090
法人税等合計	58,599	80,286
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	122,553	58,666
少数株主利益	-	-
四半期純利益又は四半期純損失()	122,553	58,666

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	122,553	58,666
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,203	9
その他の包括利益合計	17,203	9
四半期包括利益	139,756	58,657
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	139,756	58,657
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	233,775千円	233,198千円
支払手形	25,053	33,510

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	492,562千円	436,045千円
のれんの償却額	12,406	12,406

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	42,313	利益剰余金	7	平成24年 3月31日	平成24年 6月29日

(注) 配当金の総額には連結子会社が保有している親会社株式に対する配当金434千円が含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	30,223	利益剰余金	5	平成25年 3月31日	平成25年 6月28日

(注) 配当金の総額には連結子会社が保有している親会社株式に対する配当金310千円が含まれております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

当社グループは、みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線事業の単一セグメントであるため、記載を省略しておりません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	20円48銭	9円81銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	122,553	58,666
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	122,553	58,666
普通株式の期中平均株式数(株)	5,982,688	5,982,630

(注) 当第3四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、前第3四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 2月 7日

株式会社サンユウ

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	堤 佳史	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	小林 洋之	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	田中 賢治	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンユウの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンユウ及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータは含まれていません。